

NEWS23 週刊報告 ダイジェスト版

対象番組：NEWS23(TBS)

対象期間：/~/

・ 3/26(月)

北朝鮮問題、森友学園問題、年金データ入力問題、ロシア人外交官の国外追放などについて報じられました。これらのトピックについては放送法第四条からの検証を行いました。特に問題となるシーンや印象操作の疑いのあるシーンは見られませんでした。

・ 3/27(火)

森友学園問題と佐川氏の証人喚問、北朝鮮の外交攻勢、北朝鮮木造船、天皇皇后両陛下の沖縄訪問、伊方原発、強制不妊手術などについて報じられました。これらのトピックについて放送法第四条からの検証を行ったところ、森友学園問題と佐川氏の証人喚問については放送法第四条の観点からは不十分なものであり、また印象操作の疑いのあるシーンが見られるものでした。加えて、森友学園問題と佐川氏の証人喚問については検証者の所感を記しました。

・ 3/28(水)

金正恩氏電撃訪中、森友事件、来年度予算案などについて報じられました。これらのトピックについて放送法第四条からの検証を行ったところ、森友事件については高く評価できるものでした。

・ 3/29(木)

貴乃花親方降格処分、東京で初の夏日、レスリングパワハラ問題、麻生大臣発言に野党反発などについて報じられました。麻生大臣発言については放送法第四条からの検証を行ったところ、放送法第四条の観点からは問題のある箇所が見受けられました。

・ 3/30(金)

玄海原発三号機で微量の蒸気漏れ、北朝鮮の動きと日朝首脳会談の可能性、麻生大臣発言、退位と即位などについて報じられました。これらのトピックについて放送法第四条からの検証を行いました。特に問題となる箇所は見られませんでした。また、麻生大臣発言については検証者の所感を記しました。

※検証の詳細は次ページ以降の「詳細版」に掲載されている各放送日の報告書をご覧ください

放送法遵守を求める視聴者の会

NEWS23 週刊報告 詳細版

テレビ局：TBS	番組名：NEWS23	放送日：2018年3月26日
出演者：星浩、雨宮塔子、駒田健吾、皆川玲奈、宇内梨沙		
検証テーマ：北朝鮮問題、森友学園問題、年金データ入力、ロシア人外交官		
<p>報道トピック一覧</p> <ul style="list-style-type: none"> ・北朝鮮問題 ・森友学園問題 ・ロシア、商業施設で火災 64 人死亡 ・年金データ入力問題 ・ZOZOTOWN 寸法計測スーツを無料提供 ・大相撲春場所、八角理事長再選 ・阿弥陀峰滑落で死者 ・春本番の陽気 ・ロシア人外交官の国外追放 ・ハワイ、カイルアビーチのゴミ問題 ・スポーツ報道 ・天気予報 		
<p>放送法第4条の見地からの検討・検証および該当トピックの報道内容要旨</p> <ul style="list-style-type: none"> ・北朝鮮問題：結論→特に問題なし <p>中国のSNSサイトである「ウエイボ」に投稿された動画や宿泊されるとみられる釣魚台迎賓館の周辺や中心部の人民大会堂周辺の厳戒態勢を現地から報じ、中国政府関係筋がJNNの取材に対し、国家指導者レベルの警備体制が敷かれていると話していることから、列車に乗っているのは相当ランクの高い人物であり、金正恩党委員長の可能性も指摘された。オープニング後でのスタジオでは星さんが「中国と北朝鮮の力関係からすれば北朝鮮が南北首脳会談とか米朝首脳会談に向けた考え方を説明しているんだと思いますけども、仮にこれ金正恩氏だとするとですね、韓国、それからアメリカその前に中国と三か国と首脳会談を相次いでこなすとなると大変な外交構成ですね。」とのコメントをしていったん次のトピックへ移り、番組末尾で冒頭部と同様の内容を繰り返し報じ、星さんの「北朝鮮の外交構成でね、東アジアの構成が非常に変わりつつありますよね。日本もトランプさんと百パーセント共にあるというだけでは済まなくなるかもしれませんね。」とのコメントで番組全体が締めくくられる形であった。このトピックに当てられた時間は冒頭部と末尾部合わせて191秒だった。放送法四条の観点からは特に問題は見られなかった。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・森友学園問題：結論→特に問題なし <p>籠池被告との接見を終えた野党議員が森友学園と安倍昭恵夫人との関与についてした発言を受け、官邸や安倍昭恵総理夫人との関与を疑う野党議員に対する官房長や理財局長の答弁が以下に朱記したように報じられた。</p> <p style="color: red;">共産党所属辰巳孝太郎参院議員「これ何を根拠におっしゃってるんですか」</p>		

財務省矢野官房長「麻生大臣にご報告をざんげのご報告をさせていただきましたが、その時の大臣のご反応、まさにそうだったのかとまさに文字どおり初めて聞いたということだったわけです。事務方がやったことでございます。」

辰巳「総理官邸と、おっしゃったと思いますが。」

矢野「総理官邸という言葉は適切でなかったかもしれませんが、財務大臣と総理大臣という意味でございます。」

辰巳「官邸はいかがなんでしょうか。官邸は、あったという認識なんでしょうか。」

矢野「あったという事実は突き当たっておりません。」

立憲民主党所属福田哲郎参院議員「実は去年三月二日の時点で既に改ざんを前提に答弁していたか、改ざんが行われていたか、改ざんを意思決定して答弁を作って答弁をして、改ざん前の文書とは全く違う虚偽の答弁を国会でしていたかというふうにししか考えられないんですが、太田さん、私の認識間違ってますか？」

太田充理財局長「誰がいつどういう目的でということ調査していると申し上げております。その最中でございますので、それについて明確にお答えすることは今の私にはできかねます。」

放送日の翌日に行われる佐川氏の証人喚問を前に、文書の改ざんについて改ざん前の文書と佐川氏の答弁を並べ、佐川氏の答弁が嘘で塗り固められていた可能性を指摘した。このトピックに当てられた時間は 688 秒だった。放送法四条の観点からは特に問題は見られなかった。

・年金データ入力問題：結論→特に問題なし

年金情報の入力業務を委託された会社がずさんなデータ入力を行っていた問題に対し、日本年金機構は今日、ミス全貌を明らかにし、入力ミスにより、およそ十五万人の年金の支給額に影響があったことを発表したと報じた。問題になっている会社の業務体系の実態や、日本年金機構と結んだ契約とは異なるやり方でデータの入力が行われていたことが報じられ、スタジオでは過去の年金機構（社会保険庁だった頃も合わせた）の不祥事が報じられ、星さんの「独立性は社保庁に比べると高くなったんですけどもその分その厚労省のグリップが利いてないというところがありましてね。そういう意味ではその老後の大事な年金ですからね、えーその、管理体制をきちんと点検してもらいたいですよね。」とのコメントで締めくくられた。このトピックに当てられた時間は 290 秒だった。放送法四条の観点からは特に問題は見られなかった。

・ロシア人外交官の国外追放：結論→特に問題なし

イギリスでロシア人の元スパイが神経剤で殺害された対抗措置としてアメリカが、ロシア人外交官 60 人を国外追放すると発表し、ホワイトハウスは対象の外交官は諜報活動に従事しているとしていてアメリカの海軍基地と距離が近いことから、西海岸、シアトルの総領事館の閉鎖も命じているとも報じ、当事国のイギリス、ロシアはそれぞれ 23 人の外交官を国外追放しているが、26 日、ドイツとフランスもロシア人外交官の追放を命じ、対抗措置が拡大しているとまとめた。このトピックに当てられた時間は 40 秒だった。放送法四条の観点からは特に問題は見られなかった。

NEWS23 週刊報告 詳細版

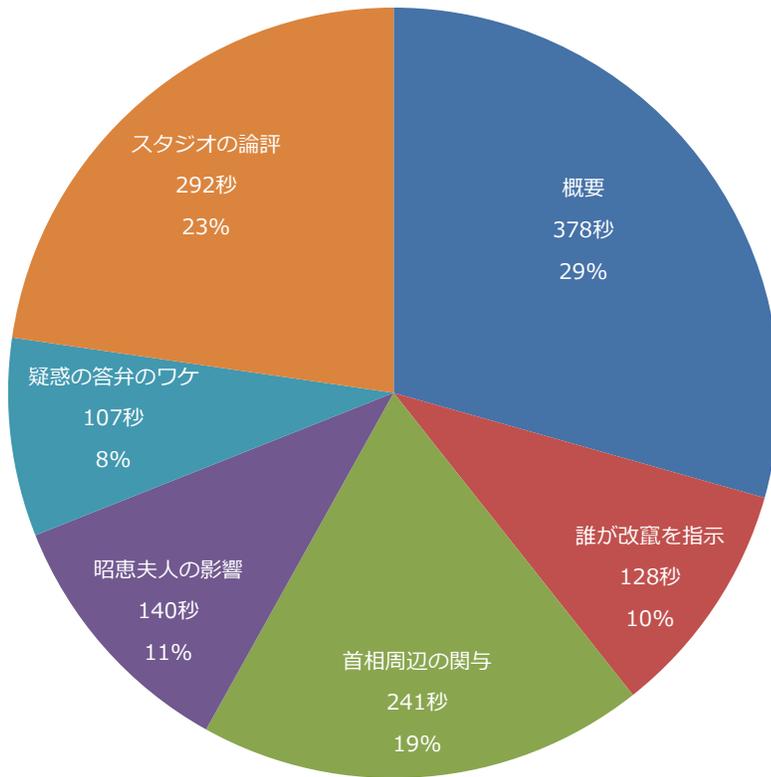
最高裁判例の見地からの「印象操作」に関する所見および該当トピックの報道内容要旨
特になし

検証者所感

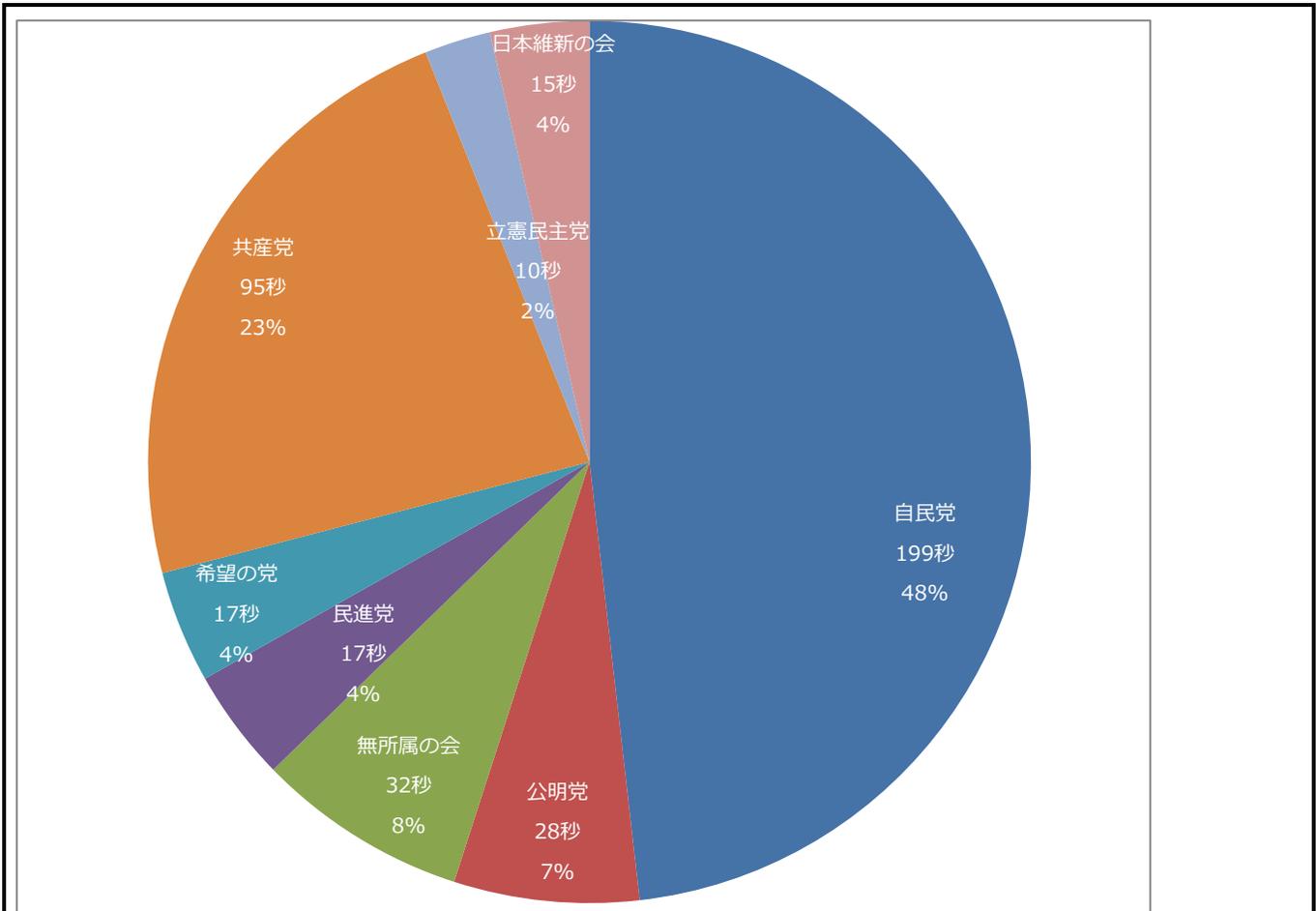
NEWS23 週刊報告 詳細版

テレビ局：TBS	番組名：NEWS23	放送日：2018年3月27日
出演者：星浩、雨宮塔子、駒田健吾、皆川玲奈、宇内梨沙		
<p>検証テーマ：森友学園問題と佐川氏の証人喚問、北朝鮮の外交攻勢、北朝鮮木造船、 天皇皇后両陛下の沖縄訪問、伊方原発、強制不妊手術</p>		
<p>報道トピック一覧</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 森友学園問題と佐川氏の証人喚問 ・ 北朝鮮の外交攻勢 ・ ロシアで火災 64 人死亡 ・ 函館地裁、北朝鮮木造全船長に有罪 ・ 天皇皇后両陛下の沖縄訪問 ・ 伊方原発二号機廃炉へ ・ 栃木県那須町の雪崩事故から一年 ・ スポーツ報道 ・ 天気予報 ・ 強制不妊手術 		
<p>放送法第4条の見地からの検討・検証および該当トピックの報道内容要旨</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 森友学園問題と佐川氏の証人喚問：結論→やや不十分 <p>森友学園で佐川宣寿前理財局長の証人喚問が行われたことについて報じられた。このトピックにあてられた時間は1286秒で、トピックは証人喚問以外についての全体的な概要、証人喚問については①誰が改竄を指示したのか②首相周辺の関与があったのか、③昭恵夫人の影響あったのか、④疑惑の答弁のワケの4点、そしてスタジオでの論評の併せて6つのポイントに分けられ、これらについての時間配分及び比率は以下の通りであった。</p>		

NEWS23 週刊報告 詳細版



また、証人喚問及び証人喚問後の政治家のコメントについて、各党が取り上げられた時間の配分及び比率は以下の通りであった。



証人喚問では①誰が改竄を指示したのかについては以下に朱記した様子が VTR で取り上げられていた。

ナレーション「焦点は誰が改竄を指示したのか、しかしその答えは一貫していました。」

テロップ「誰が改竄を指示？」

丸川珠代(自民党参院議員)「佐川さんが財務省に残してきた後輩たちのためにも、誰の指示で、なぜ書き換えが行われたのか、知りうる限りの事実をお話ください。」

佐川宣寿「刑事訴追のおそれがございますので答弁はご容赦させていただきたいというふうに思います。」

丸川珠代「佐川さんが理財局長であったときに文書の書き換えが行われた、ということについてはこれは事実でしょうか。」

佐川宣寿「刑事訴追のおそれがございますので、その点、ご容赦願いたいと思います。」

竹内譲(公明党衆院議員)「書き換えを命令したのは佐川証人でしょうか」

佐川宣寿「刑事訴追のおそれがありますので答弁を差し控えさせていただきたいというふうに思います。」

竹内譲「現場のことを一番良く知っているあなたの部下たちがね、佐川局長を付度したのではないかな、と。書き換えにつながりですね、それを黙認していたのではないか。」

佐川宣寿「まさにそれは刑事訴追の恐れがある話でございますので、答弁を控えさせていただきたいという風に思います。」

ナレーション「刑事訴追のおそれを立てに証言拒否を連発、」

ナレーション「逆にこの答弁から浮かび上がってくる点があると元東京地検特捜部の落合弁護士は指摘します。」
落合洋司弁護士(元東京地検特捜部)「その証言を拒絶しているという姿というか状況から見て、まあ合理的に推測されるのは、文書の改竄というのについてかなり早い時期からそれなりに強い深い関わりを持っていたと印象を強く受けるものがありますよね」

ナレーション「改竄に関して唯一認めたのがこの質問。」

丸川珠代「理財局内部で書き換えが行われた、佐川さんはお認めになられますか。」

佐川宣寿「理財局内部で行われたというふうに考えております。」

ナレーション「改竄は理財局の中で行われた、といい切ったのです」

証人喚問では②首相周辺の関与はあったのかについては以下に朱記した様子が VTR で取り上げられていた。

テロップ「首相周辺の関与は？」

ナレーション「一方、理財局の関与とは対象的に安倍総理や昭恵夫人など総理周辺の関与については歯切れよく否定しました。」

丸川珠代「安倍総理からの指示はありませんでしたね。」

佐川宣寿「ございませんでした。」

丸川珠代「念の為に伺いますが、安倍総理夫人からの指示もありませんでしたね」

委員長「佐川証人」

佐川宣寿「ございませんでした。」

丸川珠代「少し丁寧に聞きます。官邸の官房長官、官房副長官、総理秘書官からの指示はありましたか？」

佐川宣寿「ございませんでした。」

丸川珠代「ここまでの証言を踏まえますと、まず官邸からの指示はなかったということになります、間違いありませんか。」

佐川宣寿「間違いありません。」

ナレーション「総理周辺の完全に否定する佐川氏に対して野党からはこんな声が」

江田憲司(無所属の会衆院議員)「この改竄問題については一切どなたも関わっていない、という断言なんですよ。しかしね、もし仮にあなたがこの改竄問題に関与していないとすればね、そんな断言答弁は出来ないでしょ、これはまさにあなたがこの改竄問題に関与しているという自白をしているのと同じじゃないですか。」

ナレーション「野党側はこれまで安倍総理による去年2月17日の答弁が文書改竄に影響を与えた可能性を指摘していました。」

安倍総理(2月17日)「私や妻が関係していたということになれば、これはもう、間違いなく総理大臣も国会議員も辞めるということをはっきりと申し上げておきたい。」

小川敏夫(民進党参院議員)「こうした総理の答弁を承けてですね、特に証人あるいは財務局の方で答弁に対する姿勢というものについて影響はありましたか。」

佐川宣寿「総理の答弁の前と後ろで私自身が答弁をかえたという意識はございません。」

今井雅人(希望の党衆院議員)「私や妻が関係したら辞めるっていうような話は、その答弁を聞かれた時はそこまでおっしゃるのがびっくりされたりしなかったですか。」

佐川宣寿「私も席に座って聞いていたときには、ああ総理はそういう思いで、政治的な思いで仰っているのかな、

とその時は感じました。」

ナレーション「では、なぜ佐川氏は財務省、理財局以外の関与を明確に否定したのでしょうか、根拠としてこんな説明をしました。」

佐川宣寿「この案件は、まさにこんこ理財局の、その国有財産行政における現場、近畿財務局におけます個別の案件でございますので、私共はそういう個別案件につきまして、あの官房にご相談をするようでもございませんし、ご報告することでもございませんし、まして、官邸に何かご報告するとかそういう事がございましたので。」

ナレーション「個別案件のため、他の部署に相談することなく理財局で対応したというのです。しかし、一般的に総理の答弁が絡む案件に関しては財務省だけでなく官邸にも事前に相談があります。共産党の小池氏はこの点を追及。」

小池晃(共産党参院議員「当然あなたの答弁内容は、首相官邸とも調整しているということになるんじゃないですか。」

佐川宣寿「こういう個別の案件については理財局が総理用にすこしこう、簡単にしたものをお届けするスロ言うのが実体だったとお見おます。」

小池晃「極めて政治的な中身の質問なんですよ。これをね、官邸と調整しないで質問する、答弁書を作るなんて言うのはありえない話じゃないですか、どう考えたって、全部理財局でやっちゃうんですか、そんな無責任な話が、説明が成り立つわけじゃないじゃないですか。」

佐川宣寿「極めて実務的な話でございまして、そういうものを総理官邸と調整するということは通常は考えられないわけでございます。」

証人喚問では③昭恵夫人の影響はあったのかについて以下に朱記した様子が VTR で取り上げられていた。

ナレーション「財務省の不祥事は収束へと向かうのでしょうか、しかし今日の証人喚問では新たな疑問が浮かび上がりました。」

テロップ「昭恵夫人の影響は？」

丸川珠代「総理夫人が、森友学園の名誉校長であることが貸付契約や売買契約に何らかの影響を与えた経緯はありますか？」

佐川宣寿「全て不動産鑑定にかけた価格で契約をしておりますので、そういう影響はございません。」

ナレーション「不動産鑑定をへて取引をしているので昭恵夫人が影響を与える余地がなかったとする佐川氏、しかし。」

丸川珠代「それならば、なぜ、書き換えを行って安倍総理夫人の名前を削除したのでしょうか。」

ナレーション「後ろめたいことがなければなぜ昭恵夫人の名前を文書から削除したのか、疑問が残るというのです、この疑問に佐川氏は」

委員長「佐川証人」

佐川宣寿「補佐人の助言を求めてよろしいでしょうか」

ナレーション「後ろに座る補佐人に助けを求めると」

佐川宣寿「いいですか」

委員長「佐川証人」

佐川宣寿「失礼いたしました。書き換え前の決済文書に関わる話、全般につきましてやはりその経緯そのものでございますので、刑事訴追のおそれがありますので、そこは答弁を控えさせていただきたいと思っております。」

ナレーション「証言を拒否しました。更に野党は」

小池晃「決裁文書を見たときに安倍昭恵さんの名前が出てる、これはあの特別なことだという感じを持ちませんでしたか？」

ナレーション「と、重ねて質問しましたが」

佐川宣寿「私自身がその書き換えられた決裁文書をいつ認識したのかという問題そのものでございますので、その点については先程のご質問と一緒でございます。」

ナレーション「繰り返される証言拒否に質疑は度々ストップしました。」

小池晃「これでは証人喚問の意味が全くありません。あのね、訴追の恐れがあるってこと以外のことだって全部答えないんですよ。」

証人喚問では④疑惑の答弁のワケについて以下に朱記した様子が VTR で取り上げられていた。

ナレーション「そして、今回の証人喚問でもう一つ焦点となったのが」

テロップ「疑惑の答弁のワケ」

ナレーション「去年の国会で佐川氏は」

佐川宣寿(去年 2 月)「記録は残っていないということでございます。廃棄をしているということだと思っておりますので記録は残ってございません。」

ナレーション「交渉記録は廃棄したとクリア消していました。しかし、改竄前の決裁文書には森友学園との交渉記録が残っていたのです。今日、佐川氏は」

佐川宣寿「交渉記録等につきましては財務省の中の取扱として、保存期間 1 年未満で具体的には事案終了とともに廃棄する規定になっておりますのでその規定について申し上げただけだったわけでございますので」

ナレーション「一般論として財務省の規定を述べたに過ぎないというのです。しかし去年 2 月、佐川氏は」

佐川宣寿「確認をしましたところ、近畿財務局と森友学園の交渉記録はございませんでした。」

ナレーション「一般論ではなく森友学園と特定した上で交渉記録はないといい切っていたのです。野党の追及に佐川氏は謝罪に追い込まれました。」

佐川宣寿「本当に申し訳ありませんでした。文書の取り扱い規則の話をしてございました。本当にすみません」

宮本岳志(共産党衆院議員)「じゃあこの答弁については虚偽答弁を認めますか？」

佐川宣寿「それをその虚偽というふうには」

宮本岳志「虚偽じゃないか」

佐川宣寿「私自身は虚偽という認識はその時はございませんでした。」

スタジオでは以下に官邸キャップの遊佐勝美記者との中継につながり以下に朱記したやり取りが繰り返されられた。

雨宮塔子「皆さんいろいろ思われることが多いと思いますが、星さんは今日の証人喚問どう思いますか？」

星浩「断言と証言拒否というのがはっきり分かれたというのは珍しいことですよ、おそらくそこにある意味では佐川さんの狙いがあるんじゃないかな、という気がしますね。」

雨宮塔子「では、官邸、そして自民党は今日の喚問をどのように受け止めているんでしょうか、遊佐官邸キャッ

ブに聞きます。遊佐さん。」

遊佐勝美(報告)「はい、与党自民党の受け止めですけれども、改竄について、総理官邸からの指示はなかったと佐川氏が明言したことで安堵感が広がっています。政府関係者も証人喚問すればこうなると分かっていた、と指摘するなど想定内の佐川市の発言内容だったとの認識です。また、自民党幹部は今がピークで明日からしぼんでいくだろう、と期待も込めて沈静化するのでは、との見方も示しています。一方の野党ですけれども、疑惑はますます深まった、総理に付度するような佐川市の証言だった、と反発を強めています。特に国有地の売買交渉時に理財局長だった前任の迫田英典氏について佐川氏は今日、森友問題で一切引き継ぎを受けていない、と証言していますから、迫田氏や安倍総理の昭恵夫人の証人喚問を改めて求めていく方針です。ただ、明日は来年の予算案が成立する見通しで迫及の場である予算委員会の開催は野党の希望通りに行かないことから、財務省が行っている調査などで新たな展開があるのかどうか今後のポイントになりそうです。」

雨宮塔子「そして刑事訴追のおそれということで詳しい証言は避けましたけど、はっきりしたこともあるんですよ、駒田さん。」

駒田健吾「そして今回、佐川さんが明確にしたのは誰が関与しなかったかということです。そして、明言を避けたのは肝心要の誰が関与したのかということでした。今回の問題、取り沙汰された組織はご覧のようになっています。まずは文書の作成、そして土地売却の主体となりました近畿財務局、そしてこの禁忌財務教区お管理監督するのがこの財務省です、そしてその中の一つの部署である理財局、佐川さんはここで局長をかつて務めていました。その先があります。総理、そして官房長官などがあるこの総理官邸ですね。さらには、総理夫人であるこの昭恵さんの関与も疑われていたということなんですね。さあそれでは今回佐川さんが明確に示した関与しなかったのはどこなんでしょうか、まずはこちらです、理財局以外のこの財務省本省。さらにはこの総理官邸、この昭恵夫人、この3つに関しては佐川さんは明確にこのように否定したということなんですね。ここまでははっきりと佐川さんは明言し、関与していないということを言ったわけなんです。さあそれでは関与したかどうか、明言しなかったのは残りの2つです。まずはこの近畿財務局、さらにはですねこの当時、自分がですね理財局の局長を務めていました、その自身の関与、この2つに関しては明言を今回避けたんですね。今回の証言、このような構図が、星さん今回浮かび上がってきました。」

星浩「はい、まず申し上げたいのはですね、訴追の恐れがあるという理由でね、証言を拒否するのは証人の権利ではあるんですけれども、あまりこういうパターンで証言を拒み続けると証人喚問の意味がなくなっていきますので、真相解明ができなくなりますよね、今回もその例えばその決裁文書に昭恵さんの名前があったのですがそれを見た時どう思ったか、っていうような質問にはやはり答えるべきですよ。そしてもう一つはね、佐川さんあまりにも断言するものだから、改竄文書の件について、総理官邸も財務大臣も財務省の事務次官も知らなかったということになりますよね、こんなその大胆な文書改竄も官邸も財務大臣も次官も知らないということではないのかな、という疑問すら起きますよね。」

雨宮塔子「そして心配なのがこれで幕引きになってしまうのか、という。」

星浩「まずですね、おそらく検察の捜査はどんどん進むと思います。仮に佐川さんの事情聴取とか近畿財務局の家宅捜索とかいうことにあれば政界に与えるインパクトは相当大きいですよ、自民党の中からもそろそろ幕引きだという声も出てきたりですね、野党は昭恵夫人の喚問要求をしてまあらみ合いが続くんですけども今後の動きに影響を与えるのは検察の捜査と世論の動向でしょうね。」

また、上記紹介したシーン以外でも証人喚問では立憲民主党の福山哲郎参院議員の「なんで総理官邸の関与や大臣の関与だけは明確に否定されるんですか。」という発言シーンや維新の会の丸山穂高衆院議員の「解明できていないということですね、ご自身そう思われているということなんですか。」という質問に対し佐川宣寿氏が「誰がどう具体的に指示をしたかという点についてはお答え申し上げておりませんので、その点については明らかになっていないということばございますが、それはまあまさに裁判まさに司法になるということばでございます。」と答えるシーンが紹介された。

証人喚問後のシーンでは自民党の石破茂元幹事長が「極めて、なんて言うんでしょうね、その一体何だったのだろうという思いが強まる、そういうような印象ではありましたね。」と苦言を呈するシーンや、立憲民主党の福山哲郎幹事長の「全く、不誠実な答弁で、疑惑はますます深まったと言わざるを得ません。」という発言が紹介されたほか、有識者の発言として昨年の籠池被告の証人喚問で補佐人を務めた山口貴士弁護士「明明白白な嘘を突きつけて問い詰めるような鋭い質問というのは野党議員というのは残念ながら出来ていない。国民が知りたいのは事実であってそこを引き出すということなんです。(野党は)自分の感想を押し付けるような質問をしてもしょうがない、端的に事実を聞かないとだめだと思います。」というコメントや、元検事の落合洋司弁護士の「証拠品、証拠物というのはできるだけ早めにキチンと抑えておきたいと思うんですよ、特に理財局に対してですよ。そういう捜査というのは早く行われると言うかの牛柄はあるんじゃないですか、場合によって今月中とかあるいは来月はじめとか。」というコメントが紹介されていた。

証人喚問については論点が整理されており、また各論点の時間配分についても極端な偏りは見られなかった。他方で、取り上げられていた議員については自民党にあてられた時間が圧倒的に多く、ついで共産党にあてられた時間が多かった。証人喚問の各党への時間割当については全く触れられていなかったが、まがりなりにも野党第一党である立憲民主党を取り上げた時間が他の野党と比べても些か少なすぎやしないだろうか。明日以降の放送との総合的な判断が必要ではあろう。また、そもそもの時間割当は証人喚問というトピックにとって相応に重要な情報であるが、それについて言及がなかったことについて、重要な事実を伝えていないという点で放送法第四条一項三号の「報道は事実を曲げないですること」については不十分なものであったと言える。

・北朝鮮の外交攻勢：結論→特に問題なし

北朝鮮の特別列車が中国へと向かったこと、複数の外交筋は特別列車で中国へ向かったのは金正恩委員長かその特使として妹のヨジョン氏ではないかと見ていることが報じられた。このトピックにあてられた時間は 410 秒で、放送法第四条からの観点からは特に問題は見られなかった。

・北朝鮮木造船：結論→特に問題なし

去年、北海道南部の無人島に北朝鮮の木造船が漂着し発電機やテレビなどが盗まれた事件で、函館地裁は今日の判決で合計 39 点 564 万円相当の窃盗は高額で悪質と指摘し、犯行を主導した船長のカン・ミョンハク被告に懲役 2 年 6 ヶ月執行猶予 4 年の判決を言い渡したこと、カン被告はこの後北朝鮮に強制送還される見通しであることが報じられた。このトピックにあてられた時間は 32 秒で、放送法第四条の点では問題は特に見られなかった。

・天皇皇后両陛下の沖縄訪問：結論→特に問題なし

天皇皇后両陛下が今日午後、沖縄入りし国立沖縄戦没者墓苑を訪問されたこと、今回の沖縄訪問は天皇皇后として最後となる見通しとなることが報じられた。このトピックにあてられた時間は 34 秒で特に問題は見られなかった。

・伊方原発

愛媛県にある伊方原発二号機について四国電力は今日、廃炉にすることを決め、県に報告したこと、伊方原発は三機あった原子炉のうち一号機がすでに廃炉になっているほか、一昨年再稼働した三号機は去年 12 月広島高裁が運転差し止めを命じる仮処分を決定し、停止中であることが報じられた。このトピックにあてられた時間は 37 秒で、放送法第四条の点では特に問題は見られなかった。

・強制不妊手術

旧優生保護法の元障害のある人などが強制的に不妊手術を受けさせられた問題で、早ければ来月末にも厚生労働省による全国調査が行われる事になったこと、旧優生保護法を巡っては関係する資料の多くがすでに廃棄されたことが問題となっていて厚労省が都道府県に対し速やかに資料の保全を依頼することも決まったことが報じられた。このトピックにあてられた時間は 34 秒で、放送法第四条の観点からは特に問題は見られなかった

最高裁判例の見地からの「印象操作」に関する所見および該当トピックの報道内容要旨

・森友学園問題：結論→問題あり

2 月 17 日の安倍総理の「私や妻が関係していたということになれば、これはもう、間違いなく総理大臣も国会議員も辞めるということをはっきりと申し上げておきたい。」という答弁の映像が紹介されるシーンにおいて画面の外縁が不自然に暗くなる処理がなされていた。このような処理を施すことで視聴者の疑念を増幅させる恐れがあり、悪質な印象操作がなされていたと言える。

検証者所感

・森友学園問題

森友学園問題は財務省の不祥事であったが、最近各省で不祥事が相次いでいる。こうした中で、政務三役は省庁を、あるいはキャリア官僚は現場のノンキャリアを十分にマネジメントができていないのではないか、マネジメントできないほどに行政の範囲が拡大してしまっているのではないか、という議論が巻き起こるのではないだろうか、と検証者は感じている。

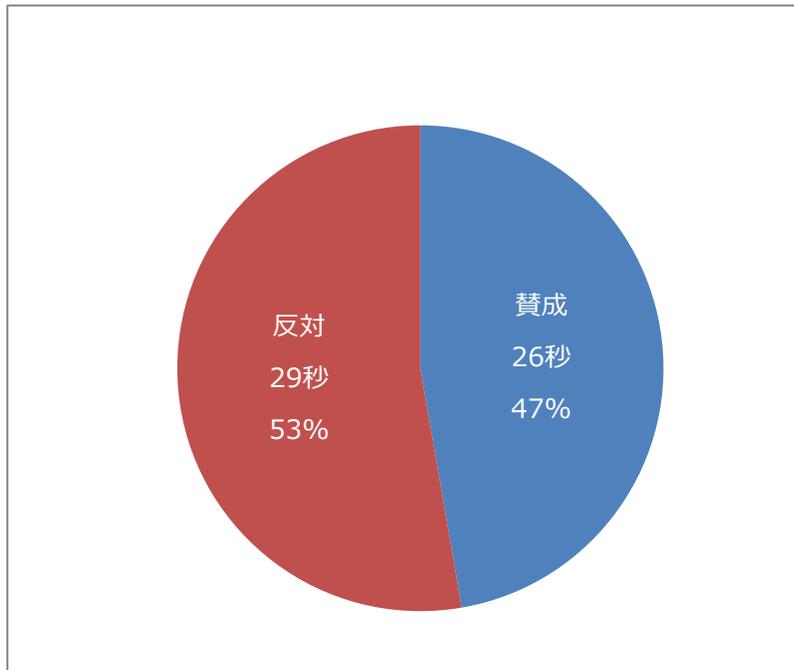
NEWS23 週刊報告 詳細版

テレビ局： TBS	番組名： NEWS23	放送日： 2018年 3月 28日
出演者： 星浩、雨宮塔子、皆川玲菜、駒田健吾、宇内梨沙、平井久志氏(北朝鮮情勢に詳しい)		
検証テーマ： 金正恩氏電撃訪中、森友事件、来年度予算案		
<p>報道トピック一覧</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 金正恩氏電撃訪中 ・ 森友事件 ・ 「貴の乱」に新展開 ・ 沖縄に対する陛下の思い ・ シリーズ「海を殺すな」 ・ ベビーホテル女児死亡 ・ 「値上げの春」業務用ビールに牛井も ・ スポーツ情報 ・ 天気予報 ・ 来年度予算成立 		
<p>放送法第4条の見地からの検討・検証および該当トピックの報道内容要旨</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 金委員長電撃訪中→結論：特に問題なし <p>朝鮮労働党の金正恩委員長が3月25日から28日にかけて非公式訪問を行ったことについての報道。終始硬い表情を崩さなかった金委員長と、時より穏やかな笑顔を浮かべる習主席と会談の様子なども報じていた。習主席の「今回の訪中はタイミングが特別でその意義は重大です。私はこれを高く評価します。」というコメントに対して金委員長は「朝鮮半島情勢は急速に前進し重要な変化があり私が速やかに状況を報告するのは当然です。」と発言していた。</p> <p>一連の訪中は防弾仕様の特別列車を使用して行なわれ、その理由として軍事ジャーナリスト黒井文太郎氏が「列車に対して攻撃されたとしてもすぐに亡くなるかは微妙だが飛行機であれば落ちたらそれでおしまいですから、(北朝鮮の主導者は)敵が多いですから疑心暗鬼になる。」と解説をしていた。</p> <p>また北朝鮮情勢に詳しいジャーナリストとして平井久志氏が紹介され「アメリカ政権で人事が行われタカ派の人達が対話の窓口に出てこようとしている。援軍にしてトランプ大統領との会談に臨みたいというのが一番大きな理由。経済制裁がじわじわと効いている。石油や物資の供給を中国がやってくれば北朝鮮の経済は生き延びられるわけですから。危機を避けるために中国との関係を修復しておきたかった。」という電撃的な訪中にはアメリカの人事や経済制裁が大きな理由となっているという指摘がなされた。その他に現地からの報告として井上波記者が中国から、上土井剛が韓国から現地の状況を伝えていた。</p> <p>以上のことを受けて星氏はスタジオで「東アジアが大きく激動する中で日本はどうするか、日本は拉致問題という非常に大きな問題を抱えているんですが、トランプさんに釘を刺すと言いますか、拉致問題を忘れるなということ強く働きかけると同時に本来なら日本も独自で拉致問題の解決に動く必要がだんだん出てきていると思いますね。」と北朝鮮問題に対して日本も独自の動きをするべきであると指摘していた。</p>		

なお今回の報道では放送法4条の見地からは特に問題点は見られず、トピックスの合計時間は996秒であった。

・森友事件→結論：放送法4条第1項4号の見地から高評価

森友問題の捜査を進める大阪地検特捜部が過去の冤罪事件から最新技術を導入し捜査に当たっていることを紹介していた。同報道内で政権に肯定的な意見を賛成、否定的な意見を反対として集計した。以下が賛否の比率及び時間である。賛成が26秒、反対が29秒、どちらでもないシーンが323秒あった。



賛成意見としては安倍総理の「政府としてははじめをつけていくことは当然のことであろうと。最終的な監督の責任は私にもあるわけですからそうしたことも含めて判断しなければならない。」といった発言や「この場で進退についてお話しする必要はないんだろうとは思いますが、まずやるべきことをしっかりと成し遂げていくことが私の責任であろうと。」といった発言が取り上げられていた。

反対件としては自由党、山本太郎議員の「いつ辞めて頂けるんですか、総理大臣を。」といった発言や「この案件のけじめ。誰が取れると言ったらトップなんですよ。あなたなんですね。」などの総理の辞任を強く求める発言が紹介されていた。また自民党の総務会長を務める竹下亘議員の「正直言って明恵さんという存在がある意味政権に迷惑をかけたのは事実。」といったコメントも紹介された。

上記グラフを参照の通り比率としては拮抗しており、反対意見として強い言葉は見られるものの公平な報道がなされていたと考える。また司法側からの意見として元東京地検特捜部の検事、高井康行弁護士が紹介され、大阪特捜が政治に配慮する可能性を問われると「特に特捜部にいるような検事は議員のことなんて獲物だとは思っていない。相手が議員だとか大物になればなるほど血気盛んになる訳です。」と返答していた。また「書き換えた人を下から順番に聞いていく。実際に書き換えた人に「誰からいつどういう指示を受けて書き換えたんですか、それともあなたの発案で書き換えたんですか」と一つ一つ地道に聞いていく。もうそれに尽きる。必ず上からの指示があったはずという思い込みで操作するのはあってはならない。」と冤罪の恐れについても言及していた。

NEWS23 週刊報告 詳細版

これら高井弁護士の指摘などを鑑みると全体的に公平かつ多角的な視点から報道がなされていたと判断でき、放送法 4 条第 1 項 4 号の見地から高い評価が与えられると判断する。

・来年度予算成立→結論：特に問題なし

来年度予算案が与党の賛成多数で可決成立したことについての報道。北朝鮮情勢等で防衛費が過去最大となり、安倍政権がすすめる「人づくり革命」関連の予算等も盛り込まれた結果、97 兆 7128 億円と過去最大を更新したことも報道された。なお今回の報道では賛否が分かれる点は見られなかった。このトピックスの合計時間は 58 秒であった。

最高裁判例の見地からの「印象操作」に関する所見および該当トピックスの報道内容要旨

特になし

検証者所感

特になし

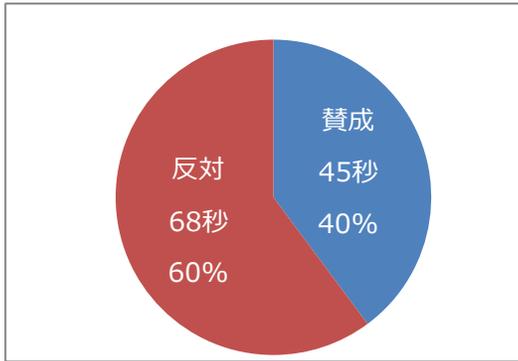
NEWS23 週刊報告 詳細版

テレビ局： TBS	番組名： NEWS23	放送日： 2018年3月29日
出演者：【キャスター】皆川玲奈、駒田健吾、雨宮塔子、星浩、宇内梨沙		
検証テーマ：麻生大臣発言		
<p>報道トピック一覧</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 貴乃花親方降格処分 ・ 金正恩氏の中国訪問 ・ 東京で初の夏日 ・ レスリングパワハラ問題 ・ 麻生大臣発言に野党反発 ・ 無痛分娩に厚労省が提言 ・ 日比谷に新名所オープン ・ 女性占い師に脱税疑惑 ・ IOC バッハ会長が北朝鮮へ出発 ・ 「海を殺すな」日本のレジ袋使用の現状 ・ スポーツ報道 ・ 天気予報 ・ 南北接近に中国がコメント 		
<p>放送法第4条の見地からの検討・検証および該当トピックの報道内容要旨</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 森友文書改ざん問題 麻生大臣発言→結論：放送法第四条第二項に抵触の可能性あり。 <p>今トピックにおいては森友文書改ざん問題に関して、麻生財務大臣の「日本の新聞のレベルってこんなもんだなと。“森友の方がTPP11より重大”と考えているのが日本の新聞のレベル」という発言に野党から反発が広がっていることが報道された。麻生大臣の他の発言として「このあいだ、茂木大臣0泊4日でペルー往復していましたが、日本の新聞には1行も載っていなかった。“森友の方がTPP11より重大”と考えているのが日本の新聞のレベル。政治部ならともかく経済部までこれかと、(記者を)おちょくり倒した記憶がありますけど」とあった。</p> <p>野党の反発の声として志位共産党委員長の「事態の重要性を全く理解していない。およそ反省がない」や、玉木希望の党代表の「取り上げる新聞を揶揄するような態度で、全て闇に葬ろうとしている。こういった政権の態度を許してはなりません」という声、辻元立憲民主国対委員長の「権力の土壌が腐っているところのもとから、どれだけきれいにしていけるか問われている。全然、幕引きじゃないと思います」というコメントが紹介された。</p> <p>VTR 後のスタジオでは雨宮キャスターの「麻生大臣ですが、自身でも極めて由々しきことと誠に遺憾ですと謝罪してからまだ二週間しか経っていないんですね。」というコメントに対し、星キャスターから「そうですね。小泉進次郎さんは今回の文書改ざん事件に関して平成政治史に残る大事件と言っていますけど、麻生大臣はその事件のまさに責任者であり、その自覚があるのか果たして疑わしいですね。本来は真相解明</p>		

NEWS23 週刊報告 詳細版

の先頭に立つべきですけれども。それから今日のコメントでも事実関係を間違ったコメントを続けていましたよね。ただ、一方で今政府与党内ではこの証人喚問で幕引きにしたいという気持ちがアリアリなんですね。そういう意味ではこの麻生さんの発言というのは政府与党の中の本音が出たということかもしれませんね。」というコメントが為された。

本トピックでは麻生大臣のコメントを賛成、反発・批判するコメントを反対として賛否バランスの時間計測を行った。結果は下図の通り。



賛成が40%、反対が60%という比率にはトピック内における偏りが見られる。本トピックにおいてはその差は大きなものではないため、直ちに違反という訳ではないが放送法第四条第二項（報道は公平に行うこと）に抵触する可能性があると考えられる。

最高裁判例の見地からの「印象操作」に関する所見および該当トピックの報道内容要旨
特になし。

検証者所感
特になし。

NEWS23 週刊報告 詳細版

テレビ局：TBS	番組名：NEWS23	放送日：2018年3月30日
出演者：星浩、雨宮塔子、駒田健吾、皆川玲奈、宇内梨沙		
検証テーマ：玄海原発、北朝鮮の動きと日朝首脳会談の可能性、麻生大臣発言、即位と退位		
<p>報道トピック一覧</p> <ul style="list-style-type: none"> ・玄海原発三号機で微量の蒸気漏れ ・北朝鮮の動きと日朝首脳会談の可能性 ・麻生大臣発言 ・イチロー選手と大谷翔平選手がメジャーリーグで開幕スタメン(スポーツ報道) ・自己評価低い日本の高校生、体系に敏感すぎる傾向も ・オウム真理教、上祐氏 ・逃亡中のタイ前首相らを直撃 ・退位と即位 ・スポーツ報道 ・【速報】玄海原発、九州電力が緊急会見 ・来週からの NEWS23 		
<p>放送法第4条の見地からの検討・検証および該当トピックの報道内容要旨</p> <ul style="list-style-type: none"> ・玄海原発：結論→特に問題なし 九州電力は今年23日に再稼働させた玄海原発三号機で蒸気が漏れるトラブルが発生したと発表したこと、放射性物質の漏れはないが発電は停止して点検するということが報じられた。また番組の最後では、九州電力は来月24日に予定していた営業運転は遅れるとした上で、5月に予定されている四号機の再稼働についても影響が出る可能性について言及したことが速報で伝えられた。このトピックにあてられた時間は99秒で、放送法第四条の点からは特に問題は見られなかった。 ・北朝鮮の動きと日朝首脳会談の可能性：結論→特に問題なし 北朝鮮による中国への電撃訪問、日本の拉致被害者家族会が安倍総理に面会したことが報じられた。また日朝首脳会談の可能性については菅官房長官の「様々な機会や手段を通じてやり取りを行ってきておりますけれど、詳細についてはお答えを差し控えたいと思います。」というコメントが紹介されていた。このトピックにあてられた時間は325秒で、放送法第四条の点からは特に問題は見られなかった。 ・麻生大臣発言：結論→特に問題なし 「日本の新聞には1行も載っていないんですけども、みんな森友のほうでTPP11より重大だと考えているのが日本の新聞のレベルでは」と、昨日新聞を批判した麻生大臣に対して野党から批判が相次いだこと、これを受けて麻生大臣が謝罪撤回をしたことが報じられた。また併せて、実際の新聞記事についても取り上げられ、麻 		

NEWS23 週刊報告 詳細版

生大臣の発言が新聞に対する事実誤認であったこと、また「TPP11 というのは日本の指導力で間違いなく締結された。この間茂木大臣ゼロ泊 4 日でペルーを往復していましたけれど」という麻生大臣の発言についても締結は調印の誤りであり、ペルーもチリの誤りであると事実誤認を指摘する箇所があった。このトピックにあてられた時間は 294 秒で、放送法第四条の観点からは特に問題は見られなかった。

・即位と退位：結論→特に問題なし

天皇陛下の退位と皇太子さまの即位をめぐる政府の式典準備委員会は一連の儀式に関する基本方針を纏めたこと、基本方針では天皇陛下の退位を前に国民の代表である総理大臣に会う退位礼正殿の儀を国事行為として来年 4 月 30 日に行うことが明記されたこと、皇太子さまの一連の即位の儀式の中心となる即位礼正殿の儀を来年の 10 月 22 日に行うことなどが盛り込まれたこと、一方で宮内庁が纏めた骨子では皇太子さまが即位後に行う大嘗祭は来年の 11 月 14 日から 15 日にかけて行われる見通しであることが報じられた。このトピックにあてられた時間は 75 秒で放送法第四条の点からは特に問題は見られなかった。

最高裁判例の見地からの「印象操作」に関する所見および該当トピックの報道内容要旨

特になし

検証者所感

・麻生大臣発言

新聞について検証者は実際のところを知らないが、少なくとも NEWS23 に限って言えば、明らかに TPP11 よりも森友学園問題のほうが大きな扱いで、割かれている時間も大きいと言える。